

知床で学ぼう！地域産業と野生生物との共存

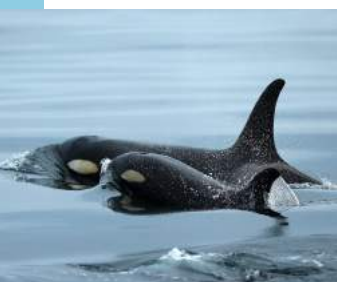
Shiretoko Nature Campus 2018

知床ネイチャーキャンパス 2018 を開催します！

9月19日[水]～21日[金]

会 場：ホテル知床（北海道斜里町ウトロ香川 37）

実習フィールド：斜里町及び羅臼町の世界自然遺産地域と周辺



知床ネイチャーキャンパスは、科学的な野生生物保護管理の先進地である北海道・知床を舞台に、この分野の第一線で活躍する大学教授らが講師を務め、講義、野外実習、グループワークなどを体験する教育プログラムです。

3回目の開催となる今年は、地域産業（漁業、観光業、農林業）と野生生物との共存がテーマ。知床で濃密な3日間のプログラムを体験してみませんか。

定員：24名（先着順）

受講料：3,000円（資料代・実習費・保険料）

参加費：学生 13,000円 社会人 18,000円

（3泊分の宿泊費、食費、交流会費を含みます）

※集合は19日午前8時45分、

解散は22日午前8時45分です。

会場までの往復交通費は各自負担となります。

詳しくは裏面をご覧ください。

主催

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

当財団は、野生生物と人間社会との共存を担うエキスパートを育成する高等教育機関を知床に開設することを目的に活動しています。このプログラムの実施成果は、実現を目指す教育機関のカリキュラム作成に生かされます。

講師紹介 (敬称略)



桜井 泰憲

函館頭足類科学研究所所長・北海道
大学名誉教授・知床世界自然遺産地
域科学委員会委員長
専門は海洋生態学・水産海洋学



敷田 麻実

北陸先端科学技術大学院大学教授・
知床世界自然遺産地域科学委員会委
員 (適正利用・エコツーリズム WG
座長) 専門は地域資源戦略など



石名坂 豪

公益財団法人知床財団 主任研究員・
博士 (獣医学)
大型哺乳類の保護管理に従事



小林 万里

東京農業大学生物産業学部教授
北海道におけるアザラシ類の生態・
行動研究に従事



野別 貴博

公益財団法人知床財団 主任研究員・
博士 (水産科学)
知床の魚類調査に長年従事



福田 佳弘

知床海鳥研究会代表・知床ウト口海
域環境保全協議会事務局長
北海道内や北方四島で海鳥の研究と
保護活動に従事



中川 元

公益財団法人知床自然大学院大学設立
財団業務執行理事・元知床博物館長
知床の野生動物研究や保全活動に従事

※その他、地元講師数名が参加します。

スケジュール

※スケジュールは天候等で変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

1 日目 (19 日)

8:15～ 受付
9:00～ 開会式など
午前 講義 1～3

知床の自然の概要と
歴史や地域産業、世界遺産地域
の保全対策、ヒグマ対策などの
講義を行います

午後 実習 1～2

知床五湖や岩尾別地区のヒグマ
生息地における国立公園利用者
との共存策、農地における被害
対策などを学びます

夜 演習 1

グループワークのためのチーム
ビルディングを行います

2 日目 (20 日)

午前 実習 3～4

羅臼沿岸を航海し、クジラ類や
海鳥の観察や、漁業と海域生態
系保全について学びます
漁港や市場、昆布倉庫も見学

午後 講義 4～7

実習を踏まえ、
海域生態系保全と漁業の共存、
海棲哺乳類と漁業の共存、
海鳥保護と観光などの
講義を行います

夜 演習 2

チームごとに分かれ、
少人数ゼミを行います

3 日目 (21 日)

午前 実習 5
演習 3

ウト口漁港でサケの水揚げ、
周辺河川でサケの遡上を見学し
た後、チーム別のゼミなどを行
います

午後 演習 4

グループワークやまとめ、
発表準備などを行います

夜 オープンキャンパス
交流会

3日間の学習成果を、
地元住民を交えた場で発表し、
交流や意見交換を行います

4 日目 (22 日)

8:30～ 閉会式
8:45 解散

参加申し込み先

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
e-mail : sizendaigaku@gmail.com
FAX : 0152-26-7773

参加希望者は左記の専用 e-mail アドレスか FAX に、
氏名、学校・会社名 (所属)、連絡先 (e-mail アドレスと電話番号)
をお送りください。